M A Y A S A N

摩耶山

まやさん

山形県名勝指定

山形県鶴岡市

摩耶山へのアクセス

◆電車で…上越新幹線　東京→新潟
約2時間15分

JR羽越線（特急）新潟→あつみ温泉
約1時間30分

あつみ温泉駅から登山口まで…
バスで30分
タクシーで20分

◆お車で…新潟より　2時間
仙台より　3時間
山形より　2時間

お問い合せ
あつみ観光協会
〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海甲 306
TEL0235-43-3547
URL http://www.atsumi-spa.or.jp

平成24年5月作成

摩耶山の起源と由来

摩耶山は摩耶山系の主峰で、山頂が前の山・中の山・南の山の三峰からなり、最高の前の山は海抜1,019mである。頂上からの眺望は絶佳で、東面は荒沢ダム、大鳥川渓谷を隔てて朝日連峰から月山を望み、晴天には遥かに奥羽山系まで展望される。西面は温海岳越しに日本海に浮かぶ佐渡島、南方遥かに飯豊・東の連山、北面は鳥海山の雄姿を仰ぐ。山体は花崗緑岩からなるが、中の山、南の山のドーム型山形は稀に見るもので、学術的にも貴重なものとされている。摩耶山に登るには、温海側に越沢口、関川口があり、朝日側に倉沢口がある。

この山は古くから厩山神社を祀り、広く地方民の信仰を集めてきた。厩山の神は、木野俣に「満屋山城輪神社」が祭られていることから、都岐沙羅柵の守護神であったのではないかという説もある。のちに熊野信仰、さらに摂津の摩耶山信仰がもたらされ仏母摩耶夫人を祀る霊場として栄えた。

金峯修験の盛んな頃は奥の院と称され、逆峯がけ修行の最終の行場の山であり、登山者で賑わったが、上杉氏が庄内を領するや入山を禁止し、また酒井氏もその方針をもってのぞんだ。このように永い間登山禁断の山とされてきたために自然がよく保存されている。

やまがたの棚田20選に選ばれている越沢の棚田

「郷清水」の水で育てた米で造られた清酒「摩耶山」。辛口で口当たりが良く、きれいな後味が特徴です。

清酒「摩耶山」

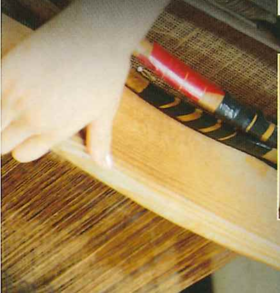
里山の特産品

べろべろ餅

しな織

とち餅

笹巻き

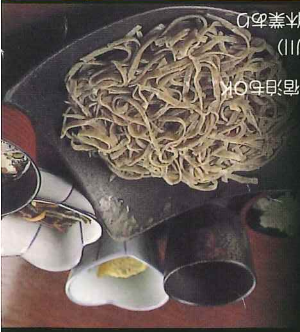


関川しな織センター

全ての工程が手作業で行われるしな織。
ぬくもり館ではコースター制作体験ができます。
☎0235-47-2502

蕎麦処ご案内

- **わらび庵**（温海川）
  ☎0235 (47) 2136　毎週水曜日定休
- **まやのやかた**（越沢）　要予約
  ☎0235 (47) 2430
- **金沢屋旅館**（関川）　要予約
  ☎0235 (47) 2025　山の幸満載の日帰り会食、宿泊もOK
- **出羽街道 路の茶屋「キラリ」**（温海川）
  ☎0235 (47) 2588　第2・4火曜日定休　冬期間休業あり



登山後はあつみ温泉へ　気軽に入れる共同浴場や足湯があります。

共同浴場：下の湯

足湯：あんべ湯

共同浴場：正面湯

摩耶山（まやさん）登山マップ

標高◎1,019m

登山ルート（所要時間の目安）

一般コース　約2時間20分（緑）
越沢登山口→小浜の茶屋跡→クセ穴大森林→越沢関川合流点（追分）→避難小屋→六体地蔵→頂上

一般コース　約2時間（紫）
関川登山口→関川車道終点→越沢関川合流点（追分）→避難小屋→六体地蔵→頂上

上級コース　約2時間25分（橙）
越沢登山口→小浜の茶屋跡→弁財天滝→分岐点→七つ滝→避難小屋→六体地蔵→頂上
※七つ滝ルートは危険箇所あり要注意

上級コース　約1時間50分（橙）
越沢登山口→小浜の茶屋跡→弁財天滝→分岐点→中尾根→頂上

「この地図の作成にあたっては国土地理院発行の25,000分の1地形図を使用したものである」

登山みどころポイント

標高の割にきつい登山道と、山頂の卓越した眺望で登山者に人気の摩耶山。頂上からは鳥海山や荒沢ダムなど360度の大パノラマの絶景が楽しめます。
山野草やブナの芽が吹く5月～6月、紅葉が美しい10月が登山のおすすめ時期です。

山頂から見る鳥海山

弁財天滝（夫婦滝）

七つ滝

コブシの花

六体地蔵